

「人道的問題、自分たちに出来ることは協力したい」(イトーヨーカドー流山店店長)

20日午前10時過ぎに、日本共産党流山市議団と妹尾七重東葛地区常任がイトーヨーカドー流山店を訪問。避難所の人たちに果物などを提供してほしいと協力を呼びかけました。

店長さんは、地震で店の3階が水浸しになったこと、被災地に身内がいる社員もいると「人道的な問題として、出来ることは協力したい。本社の指示を仰いで返事する」と答えてくれました。

イトーヨーカドーの次に、おたかの森S Cの運営会社「東伸開発」と高島屋フードメゾンに要請をおこないました。いずれも、上司に伝え、後日連絡すると回答がありました。

いずれも、流山市に避難所が設置されていることを知りませんでした。しかし、真剣に受け止めてくれました。今後は、行政からの働きかけがカギです。

「お腹いっぱい食べたのは地震以来初めて」好意に甘えるのは心苦しい。調理できる場所があれば・・・」

20日夜のあたたかいご飯とトン汁の炊き出しが被災者に喜ばれています。21日には、カレーや焼うどんの差し入れもありました。

同時に、被災者の方からは、「炊き出しの好意に甘えているのは心苦しい。調理師さんがいるから、調理場さえあれば、自分たちでやっていきたい」との声も…。今、共産党市議団が、炊事ができるように行政に求めています。

●「自治会でも被災者の力になりたい」(地元自治会役員)

避難所の地元自治会役員のAさんは「最初の頃、避難所に協力の申し出をしたが、市を通してほしいと言われた。口を出すなという感じだった」と言います。さっそく、いぬい市議が、地元自治会に協力を要請すべきだと部長に提案。自治会の中からも、支援が始まっています。

「住まいの提供の声も寄せられます。支援物資もどんどん集まっています」・・・(流山市)

21日、市議団と妹尾さんは、市役所を訪れ、避難所の改善について、担当部長に口頭で申し入れました。さっそく、避難者への放射能測定の実施や避難所に自転車を設置するとの回答がありました。

いま、震災被災者への住宅提供の申し出や、広報を見た市民から支援物資がどんどんコミュニティセンターに集まっています。市民の熱い想いに応える市の取り組みが必要です。

22日には流山市震災対策本部会議がおこなわれます。一時避難所の拡大や安定的な住宅確保など、支援活動の抜本的強化を強く望みます。

■ 支援の輪さらに広がる・・・情報をお寄せ下さい

小田桐議員から、メールがありました。

- 今日か明日、コミュニティプラザの支援物資を積んで、相馬に向け市内運送会社が出発します。役所の対応が遅いので、無料(ガソリンも自前で)で引き受けたそうですよ。
- 新婦人のかどや前の募金活動で8万円以上の募金が集まったそうです。
- 初石では路地裏でハンドマイク街頭募金で3万円をこえる募金が集まっています。また、避難場所に自治会館や自宅提供者があり、市へ登録して頂きました。

被災地への救援活動の情報をお寄せ下さい

7157-6140 日本共産党流山市議団事務所ファックスまで

●震災にかかわる行政の窓口は

流山市東日本大震災相談センター

7158-1111 市役所

●救援活動やお困り事など何でもお寄せください

日本共産党流山市震災対策本部

いぬい紳一郎事務所 7157-6140

小田桐たかし事務所 7154-8253

徳増きよ子事務所 7144-1753

植田和子事務所 7154-0288